

《参加者募集》

2019年2月～2019年11月開催(全10回)

第8期

社内広報担当者 交流会 議




◆開催主旨

企業におけるグローバル化の進展や雇用関係の変化等によって、今、社内広報の重要性がますます高まりつつあります。社内広報の代表的なツールである社内報も、印刷媒体全盛の時代からネットの時代へと変わり、その制作手法や考え方も大きく変わってきています。どうすれば効果的な社内報をつくり、目指す社内広報を実現できるのでしょうか。

本交流会議では様々な分野で活躍する実務家などから具体的な実践ノウハウを学び、自社の現状と照らし合わせながら意見交換を行ないます。また、設定した研究テーマについて情報交換・討議・研究し、研究した成果を共有化し、本音の情報・ノウハウの交換、そして総括討議を行ないます。多彩な講師陣との交流や異業種のメンバーの方々とのフランクな議論は、新たな発想や人脈作りのスキルという点でも今後の大きな財産になります。

さらに、年間参加企業を対象に「社内報コンサルティング」を提供することで編集者がもつべき視点や改善点をお伝えし、より学びを深めていただきたいと思います。

開催にあたり上記の活動主旨にご賛同いただける意欲的かつ熱意あるメンバーの参加をご期待申し上げる次第です。

開催日	テーマ・講師	(敬称略)
2019年 2月15日(金)	【見学会】 「日本マイクロソフトの企業変革とインナーコミュニケーション」 日本マイクロソフト(株) コーポレートコミュニケーション本部長 岡部 一志 氏	
3月15日(金)	「ホールディングスが行うべき社内広報とは？」(仮) ソニーフィナンシャルホールディングス(株) 広報部長 菅野 裕美 氏	
4月19日(金)	「社内広報講座」 ※資料は140ページにおよぶ永久保存版！ 秋には社内広報講座II(企画編集力編)を予定。 編集者がなすべきこととは何か。新配属や職場異動で社内広報を担当することになり、何をどう進めてよいかわからない。社内広報をある程度経験してきたが、このままでいいのかと思索している。そのような方を対象に『社内広報講座』を実施します。社内広報の意義と役割を再確認し、社内広報業務の基本的な考え方を学ぶことでモチベーションアップにつなげていただければと思います。 元 パナソニック(株) グローバルコミュニケーション推進総括部長 松枝 健夫 氏	

社内広報講座I(基礎編)

- ・社内広報のルーツ(定義・目的)
- ・社内報制作の基本(情報収集、編集計画、取材、執筆、写真、見出し、レイアウト、校正、読者調査)

◆開催要領

《期間》2019年2月～2019年11月(全10回) 《日時》原則として毎月1回 14:00～17:00

12:30～13:30 1.社内報コンサルティング <small>(年間参加企業 / 先着順 / 1日1社限定)</small> コーディネーターの松枝氏から 貴社の社内報のアドバイス	14:00～15:30 2.ゲスト講演 ゲスト講演またはメンバー発表	15:40～17:00 3.グループ討議 グループに分かれて、各社の情報 交換	17:00～ 4.情報交換会 自由参加
--	--	--	---

会場	企業研究会セミナールーム		
参加対象	広報部、総務部、企画部門などの方々		
コーディネーター	元パナソニック グローバルコミュニケーション推進総括部長 松枝 健夫 <small>【略 歴】</small> 1977年松下電器産業入社。国内家電営業、営業本部での新規市場開発に従事。1997年広報本部広報編集部にて松下グループ社内報季刊『松風』編集長。2002年社内報月刊『PaNa』創刊。初代編集長。グローバルコミュニケーション推進総括部長を経て2012年定年退職。現在歴史街道推進協議会理念普及事業講師。日本経団連社内広報センター代表幹事(2007年～2012年)、日本広報学会常任理事(2009年～2013年)。 <small>*『松風』、そして『PaNa』は日本経団連社内広報センターの社内報審査で1969年の初応募から2012年まで連続44年間「日本経団連推薦社内報総合賞」に選定され表彰を受ける。</small>		
幹事	アステラス製薬(株) 研究本部研究企画部企画管理グループ課長 芦沢 祐子		
	(株)リクルートホールディングス 広報部グループ社内広報グループ 横山 幸代		
	オリンパス(株) 広報・IR部 久野 寛子		

◆第1期～第7期参加企業

(敬称略 五十音順)

アイシン・エイ・ダブリュ	川崎重工業	ソニーマーケティング	日東電工	ポーラ
アイシン精機	キトー	ソニーフィナンシャルホールディングス	日本ハム	堀場製作所
アヴァシス	キリン	第一生命保険	日本紙パルプ商事	ポリプラスチックス
曙ブレーキ工業	京セラ	大成有楽不動産	日本触媒	本田技研工業
旭硝子	協和発酵キリン	ダイセル	日本GE	丸井グループ
アサヒグループホールディングス	クラレ	武田薬品工業株	日本精機	丸紅
味の素	KDDI	竹中工務店	日本電気	マツダ
味の素コミュニケーションズ	KDDIまとめてオフィス	田辺三菱製薬	日本たばこ産業	三井化学
味の素物流	コープデリ生活協同組合連合会	中国電力	日本特殊陶業	三井化学東セロ
アステラス製薬	国分	中部電力	日本ヒューレット・パッカード	三井・デュボンフロロケミカル
アマノ	コクヨ	TIS	ノーリツ	三井不動産
アルプス電気	国連開発計画	DIC	ノバルティスファーマ	三井物産
アルプス薬品工業	サイバーエージェント	DTS	野村総合研究所	Mizkan Partners
イオン	サッポロホールディングス	TDモバイル	野村貿易	Mizkan Holdings
出光興産	三協立山	電源開発	ハーゲンダッツジャパン	三菱化学エンジニアリング
岩崎電気	サントリーホールディングス	デンソー	バイエル薬品	三菱ケミカルホールディングス
岩谷産業	CSKサービスウェア	電通パブリックリレーションズ	博報堂	三菱重工業
宇部興産	ジーフィット	電力中央研究所	ハリマ化成グループ	みらかホールディングス
江崎グリコ	JNC	東京インキ	阪急電鉄	明治ホールディングス
NOK	JVCケンウッド	東芝	阪急阪神ホールディングス	メイテック
NTTデータ	JFRオフィスサポート	東北電力	バンダイ	森ビル
荏原製作所	シチズンセイミツ	東洋ゴム工業	東日本電信電話	森永製菓
王子ホールディングス	シチズンホールディングス	トクヤマ	日立化成	ヤマハ発動機
大阪ガス	清水建設	戸田建設	日立キャピタル	ヨロズ
岡村製作所	鈴木商館	凸版印刷	日立ソリューションズ	ライオン
旺文社	スズケン	豊田通商	日立ライフ	リクルートコミュニケーションズ
オートバックスセブン	鈴与ホールディングス	豊田中央研究所	広島ガス	リクルートホールディングス
オムロン	スタイルム	トヨタファイナンス	ファイザー	リクルートマーケティングパートナーズ
オリエンタルランド	スタンレー電気	トヨタメディアサービス	ヒロセ	リコー
オリオン機械	住友商事	ナカシマプロペラ	富士電機	リコージャパン
オリンパス	スリーエムジャパン	長瀬産業	藤森工業	リンクコーポレートコミュニケーションズ
花王	セブン銀行	永谷園	プラネット	歴史街道推進協議会
加賀電子	千趣会	ナプテスコ	ブリヂストン	ロート製薬
カネカ	ソニー	西日本旅客鉄道	古河電気工業	YKK
ガリバーインターナショナル	ソニーLSIデザイン	日清オイリオグループ	ベネッセホールディングス	ワコールホールディングス

◆前期(第7期)講師(2018年2月～11月)

日本マクドナルド、ANA、ヤフー、松枝 健夫氏、東京急行電鉄、朝日新聞社、
日本たばこ産業、大林組、ダイヤモンドクォーター、住友商事



◆全体討議又はグループ討議での例示テーマ

社内広報を取り巻く環境の変化、過去7年間の討議実績を踏まえ、第8期では下記の研究テーマを討議していきます。コーディネーターによる論点の提示、テーマについての留意点や考え方についての解説があります。

実施月 (予定)	研究テーマ	論 点
3月	WEB社内広報①	(1) イントラは何を目指して作るか、何を最重要視しているか (生産性の向上、協業の促進、あるいは何? 目的・範囲・手段) (2) イントラの構築(情報収集、発信計画、発信基準、発信頻度、編集体制) (3) 媒体特性の整理、有効コンテンツ
4月	WEB社内広報②	(1) 社内SNSの活用(導入/課題) (2) 媒体相互の連携や相乗効果をどうつくるか(メディアミックス/クロスメディアの視点) (3) 編集体制(企画記事とニュース記事、ワンソース・マルチユースの実現、 社外広報・社内広報連携)
5月	社内広報の効果測定	(1) 社内報づくりのPDCA (2) 社内報の評価は誰がするのか(読者調査の目的、設計、反映) (3) 外部審査の問題点(社外で評価を得ても社員に歓迎されているとは限らない、 審査員の力量、内製・外製、ヒューマンパワー、資金力) (4) 社内広報活動の総合評価
6月	社内広報のリスク対応	(1) 危機とは何か (2) 危機を乗り越えるために社内に徹底すべきこと (3) 再発防止、予防安全のために有効なコンテンツとは
7月	社内報リニューアル①	(1) 社内報にリニューアルは必要か(何のために、どう変えるのか) (2) リニューアルの背景(経営改革、業績不振、閲読率低下、トップダウン) (3) リニューアルによって変えること、変えてはいけないこと(社内報の本質、提供価値とは)
8月	社内報リニューアル②	(1) コンテンツ改革(どのターゲットに、誰が、どの視点から問題提起するのか) (2) 必要な人に確実に届く仕組みづくり(配布配信システムの見直し) (3) 記念誌・周年誌企画
9月	グループ&グローバル報①	(1) なぜグループ&グローバル情報共有が必要なのか(経営のグローバル化、情報格差) (2) グループ&グローバル報における編集視点(広く浅くか、深く強くか) (3) 分社関係会社報(会社報)と全社報(グループ報)の守備範囲 (グループ報は会社報の役割を担えるのか) (4) 共有すべきコンテンツとは(グループビジョン浸透の方法論、ローカルネタの集め方、 掲載の考え方)
10月	グループ&グローバル報②	(1) グループポータルサイトの役割と運営(運営の主管部門はどこ、それはなぜ) (2) グローバルポータル構築手順(部門関係の在り方、言語政策・ガイドライン) (3) グローバル情報共有による経営効果(経営者にとって、従業員にとって、発信者にとって) (4) 立ち上げ後のフォローと改善・ユーザビリティ評価
11月	*予備月	参加者の意向、状況変化に応じて例示する予定



◆年間プログラム (2019年2月～2019年11月)

第1回 例会 2/15(金)	第2回 例会 3/15(金)	第3回 例会 4/19(金)	第4回 例会 5/24(金)	第5回 例会 6/14(金)
第6回 例会 7/19(金)	第7回 例会 8/23(金)	第8回 例会 9/20(金)	第9回 例会 10/18(金)	第10回 例会 11/15(金)

◆◆◆◆「社内報コンサルティング」の申込方法 ◆◆◆◆

◎対象 : 年間参加企業(先着順/1日1社限定)

◎申込方法 : 雑誌・新聞型にご応募の場合、事前アンケートに必要事項をご記入の上、講評してほしい号(連続2号以内)を当研究会あてお送り下さい。Web型(イントラネット社内報等)にご応募の場合は事前アンケートと全体トップ画面、特に講評してほしい記事の画面をCD-RまたはDVDでご送付下さい。(応募社内報はご返却しませんのであらかじめご了承ください。提供いただいた社内紙誌および社内報データは講評の目的以外に使用しません)。

◎社内報コンサルティング応募企業からの声 :

- ・「社内では疑問に思っていなかったことを鋭く指摘された。誌面が偏りがちになっていたことを具体的に認識。早速次号制作に取り入れている」(株)ベネッセホールディングス 広報・IR部 明日佳織さん
- ・「編集部側が悩んでいることや迷った点は、見事に言い当てられてしまった。読み手が自分ごととして捉えて、自身の仕事につながる点を見出せるように工夫が必要だと思った。どう工夫すればいいか構成例として教えていただけたので参考にしたい」(オリンパス株) 広報・IR部 勝俣美佳さん
- ・「来年度からリニューアルを考えており大変参考になった。制作会社とも共有し、誌面の内容を考慮したデザインへ変更できた」(三井化学株) コーポレートコミュニケーション部 野口陽子さん

◎締切 : 各例会の1ヶ月前必着

◎講評 : 総評、企画、文章、レイアウト等の所見をレポートにまとめ、例会当日に直接お伝えします。

◎講評者 : 当交流会議コーディネーター 松枝 健夫氏

松枝氏は日本経団連推薦社内報審査委員(2003年～2005年)、経団連KANSAI社内広報カレッジ(2016年、2017年)等、これまで100社を超える社内報の講評実績があります。

◎応募費用 : 無料

◆参加要領

- ★法人会員企業は下記当会HPでご確認いただけます。
- ★分割支払い、代理参加等可能です。お気軽にご相談下さい。通信費・資料代等の一切を含みます。
- ★合宿研究会や例会終了後の懇親会の特別会合は別途実費となります。

参加費	年間 ◆ 1名分の参加費で2名まで参加できます。	
	正会員 280,800 円(本体価格:260,000円)	一般 318,600 円(本体価格:295,000円)
	一日 ◆ 1名分 (第1回例会の見学会を除く)	
	正会員 34,560 円(本体価格:32,000円) ×	回(受講希望日)
	一般 37,800 円(本体価格:35,000円) ×	回(受講希望日)
お問合せ お申込	一般社団法人企業研究会担当: 村野	
	E-mail : murano@bri.or.jp	
	〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR麹町ビル	
	TEL:03-5215-3512 FAX:03-5215-0951 URL:https://www.bri.or.jp	
	企業研究会	社内広報担当者交流会議 <input type="text" value="Q"/>
		<input type="button" value="検索"/>

※お客様の個人情報は、交流会議に関する確認・連絡及び当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。